かわらばん

H28
6月号

鍼灸治療について

当社ではリハビリ・マッサージだけではなく、鍼灸治療も行なっております。『鍼灸』と聞くと痛そう・怖いなどといったイメージを持たれる方が多いと思われますが、そんな事はないんですよ！
鍼は髪の毛と同じ位の太さの鍼を使用し、使い捨てですので衛生面でも安心！
灸も心地よい温熱効果が続くように行なうため、安心です。
鍼灸治療には、たくさんの症状や病気に効果があります。例を挙げると、神経系疾患・運動器系疾患・循環器系疾患・呼吸器系疾患・消化器系疾患・代謝内分泌系疾患・生殖、泌尿器系疾患・婦人科系疾患・耳鼻咽喉科系疾患・眼科系疾患・小児科疾患が挙げられます。しかし、健康保険で受けられる鍼灸治療は決められています。

◎神経痛…坐骨神経痛など
◎腰痛症…慢性の腰痛、ギックリ腰など
◎リウマチ…急性、慢性で各関節が腫れて痛む
◎五十肩…肩の関節が痛く、腕が挙がらない
◎頸肩腕症候群…頸から肩、腕にかけて痺れ痛む
◎頸椎捻挫後遺症…頸の外傷、むちうち症など
その他、これらに類似する疾患など。

※当社のマッサージと平行して施術可能ですが、鍼灸専用の同意書が必要となります！

☆★☆シクラメン通信☆★☆

おかげ様で大変好評をいただいておりますシクラメン情報。反響の声もたくさん頂いております♪ありがとうございます！
たくさん綺麗な花を咲かせてくれたシクラメンは開花期を終え、葉っぱだけになっていたり、球根が見える程葉が少ない状態になっているかと思います。もし来季も咲かせたいのであれば5月～8月は来季に向けて夏越しの準備にとりかかります。夏越しの方法は2つ。1つ目はそのままの状態で夏越しをさせる。2つ目は休眠させる。
《栽培を継続する場合》6月の梅雨時期は雨が当たらないようにする事。シクラメンは暑さも嫌いですが、雨も嫌いです。栽培を継続するので、水やりもします。ここで注意！以前話したように、水やりは球根・葉を濡らさないように、土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。基本的に生育期ではないのですが、月に1回ほど液体肥料も与えます。決してたくさんあげないで下さい。12月号のかわらばんでも紹介したように、枯れ葉があれば根元から取り除きましょう。
《休眠させる場合》戸外の直射日光と雨の当たらない涼しい場所に置きます。室内に置く場合は、日陰で風通しの良い出来るだけ涼しい場所に置く。休眠させて夏越しをさせる訳ですので、寝やすいように涼しい場所に置いてあげましょう。また、休眠中ですので水やり・肥料は一切いりません。枯れ葉があれば、同じく取り除きます。

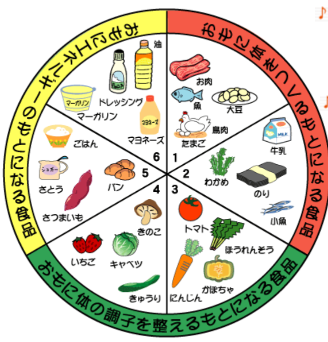
シクラメンは20度を超えるとグッタリし、30度以上では休眠してしまいます。それ程シクラメンの夏越しはとても難しいです。来季もきれいな花を咲かせてくれると嬉しいですね♪
夏越しの間はシクラメン通信もお休みとなります。(予定)

6月は食育月間

6/1～6/30は内閣府等の関係府省が呼びかけ食育推進運動を展開しています。

- 食を通じたコミュニケーション
- バランスの取れた食事
- 望ましい生活リズム
- 食を大切にする気持ち
- 食の安全

これらの重要性について、重点的に普及啓発を図っています。



♪バランスの良い食事を心掛け、楽しい食卓にしましょう♪

訪問リハビリマッサージの
福島ウェルフェアサービス
郡山市堤二丁目170番地
TEL　024(951)8700
FAX　024(951)2001
《営業担当》武田・菊地・箭内・谷・渡部

リハビリマッサージについて詳しく知りたい方は、ホームページをご覧下さい。

ホームページURL
http://fukushima-wel.jp